

公募して選ばれた編集委員が  
企画・構成・編集するページです。

編集委員 しぎはら 嶋原登志子・竹内 和世  
山本 京子

# 皆さんの生活を守ります 消防署で働く人たち

火事や事故が起きた時は119番。わずかな時間で、消防車や救急車がサイレンを鳴らして現場に駆けつけてくれます。私たちの安心や安全、生命を守る消防署。今回の女性版では、消防署で働く人たちが、どのような活動をしているのかを紹介します。

## いざというときの119番 消防、救急、救助を行います

市内には、中央消防署・東消防署の2つの消防署と、八千代台・睦・勝田台の3つの分署があり、消防職員167人が配属されています。

消防署の仕事は、大きく分けて消防・救急・救助の3つです。

**【消防】** 火災現場に迅速に到着し、消火活動することが主な任務です。

**【救急】** 急病人や交通事故、災害によるけが人などを応急処置しながら病院に搬送します。

**【救助】** 火災などで建物内から逃げ遅れた人、

▶制服の色で隊が分かれています  
左から、消防、救急、救助



事故で車の中に閉じこめられた人、川などで溺れている人などを救助します。

消防署は毎日24時間勤務。いつでも出動できる体制をとっています。八千代市では、2つの班に分かれ、1日ごとに交代で勤務します。勤務時間は16時間。1日の勤務で2日分働くこととなります。食事休憩や仮眠時間は8時間です。

勤務の翌日は非番ですが、遠出の制限などがあり、災害時などは招集されることもあります。

迅速に現場に駆けつけ、私たちの安全や生活を守ってくれている消防署。昨年の市内の出動件数は9,014件、そのうち、救急が8,243件、火災が43件、そのほかが728件でした。



### 救急車の適正利用にご協力を

8,243件。24年中の救急車の出動件数は過去最高を記録しました。しかし、搬送された人の半数以上は軽症と診断されています。

「交通手段がない」「どこの病院に行けばよいかわからない」「救急車は無料だから」「便利だから」などの理由での利用や、定期的な通院でタクシー代わりに救急車を利用することはやめてください。

救急車や救急医療は限りある資源です。重病や重症の人が利用できるよう、皆様のご協力をお願いします。

緊急な場合や、重い症状で傷病者を急いで病院に連れていく必要がある場合は、迷わず119番に通報してください。

## 通報から出動までの流れ

### ①消防本部で通報を受ける

119番にかけると消防本部につながります。指令員の呼びかけに従って、状況を教えてください。



### ②消防本部は高機能消防指令センター



八千代市消防本部は、高機能指令管制システムを導入しています。通報を受けると同時にシステムが稼働して、通報者の住所地点を画面に表示します。通報内容を聞き、災害地点の住所を入力すると、画面に災害地点の地図を表示。火災・救急・救助など災害の種類を入力すると、状況に応じた最適の部隊を編成し、自動音声装置と指令書で地区を管轄する消防署に指令を出します。

119番  
八千代消防です

### 通報は あわてず、ゆっくり、正確に

指令員の呼びかけ 通報者の通報内容

▶火事ですか？

救急ですか？・・・火事です（救急です）

▶住所はどこですか？ ●町●丁目1番地です  
（●町●丁目1番地国道  
●●号です）

▶何が燃えていますか？ 住宅が燃えています  
（どうしましたか）（ワゴン車と乗用車の事故です）

▶あなたの名前は・・・●●です

※携帯電話の場合は住所・目標となるものを伝えましょう

### ③指令を受けて出動準備



管轄署で指令を確認して出動準備。火事の時は、空気呼吸器を含め、総重量15～20キログラムの防火衣に着替えます。消火に使うホースは一卷20メートル、重さ5キログラムです。



### ④災害地点へ出動



通報を受けてから約3分後、災害地点に出動です。消防車両や救急車両でも指令情報や支援情報を受信できます。災害地点には平均約5分で到着します。